

日本国特許庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 4月14日

出願番号

Application Number:

特願2000-113323

出願人

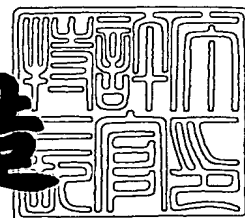
Applicant(s):

トヨタ自動車株式会社

2000年12月 1日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3098007

【書類名】 特許願

【整理番号】 TY1-4550

【提出日】 平成12年 4月14日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 電子商取引方法及びシステム並びに装置

【請求項の数】 10

【発明者】

【住所又は居所】 愛知県豊田市トヨタ町1番地 トヨタ自動車株式会社  
内

【氏名】 藤原 靖久

【特許出願人】

【識別番号】 000003207

【氏名又は名称】 トヨタ自動車株式会社

【代理人】

【識別番号】 100075258

【弁理士】

【氏名又は名称】 吉田 研二

【電話番号】 0422-21-2340

【選任した代理人】

【識別番号】 100081503

【弁理士】

【氏名又は名称】 金山 敏彦

【電話番号】 0422-21-2340

【選任した代理人】

【識別番号】 100096976

【弁理士】

【氏名又は名称】 石田 純

【電話番号】 0422-21-2340

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008268

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子商取引方法及びシステム並びに装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信ネットワークを用いて商取引を行う方法であって、  
購入を希望する商品データ及びユーザ特定データを端末からサーバコンピュータに送信し、

前記ユーザ特定データに基づいて前記商品を受け取る施設を検索し、前記施設データを前記サーバコンピュータから前記端末に送信することを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 2】 請求項 1 記載の方法において、  
前記購入を希望する商品データは、ユーザの保有する車両に取付可能な部品データであり、

前記商品を受け取る施設は、前記部品を前記車両に取付可能な施設であることを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 3】 請求項 2 記載の方法において、  
前記部品を前記車両に取り付けた状態の画像データを前記サーバコンピュータから前記端末に送信することを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 4】 請求項 2 記載の方法において、  
前記施設で前記部品を取り付けるための情報を前記端末に送信することを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 5】 通信ネットワークを介して車両に取り付ける部品の商取引を行う方法であって、少なくとも、  
端末から部品取付を希望する車両データをサーバコンピュータに送信し、  
前記サーバコンピュータで前記車両データに合致する部品データを検索して前記端末に送信して前記部品データを表示し、

前記部品データに基づき選択された、取付を希望する部品データを前記端末から前記サーバコンピュータに送信し、

前記サーバコンピュータで前記取付を希望する部品を前記車両に取り付けることができる施設を検索し、前記端末に送信して施設データを表示し、

前記施設データから選択された、取付を希望する施設データ及び取付希望日を前記端末から前記サーバコンピュータに送信する、

ことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 6】 通信ネットワークを介して車両に取り付ける部品の商取引を行う方法であって、少なくとも、

端末から部品取付を希望する車両データをサーバコンピュータに送信し、

前記サーバコンピュータで前記車両データに合致する部品データを検索して前記端末に送信して前記部品データを表示し、

前記部品データに基づき選択された、取付を希望する部品データを前記端末から前記サーバコンピュータに送信し、

前記サーバコンピュータで前記取付を希望する部品を前記車両に取り付けることができ、かつ指定された取付希望日に取付可能な施設を検索し、前記端末に送信して施設データを表示し、

前記施設データから選択された、取付を希望する施設データを前記端末から前記サーバコンピュータに送信する、

ことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 7】 通信ネットワークを用いて車両部品の取引を行うシステムであって、

車両データ及びユーザデータを送信する端末と、

前記車両データ及びユーザデータに基づき、車両に適合する部品及び前記部品を取り付けることのできるユーザ住所近傍の施設を検索して前記端末に送信するサーバコンピュータと、

を有し、前記端末は、前記施設における前記部品の取付予約を前記サーバコンピュータに送信することを特徴とする電子商取引システム。

【請求項 8】 通信ネットワークを用いて車両部品の取引を行う装置であって、

部品データを記憶する第 1 記憶手段と、

施設データを記憶する第 2 記憶手段と、

車両データに基づき、車両に適合する部品データを前記第 1 記憶手段から検索

する手段と、

前記車両データ及びユーザデータに基づき、前記ユーザ住所近傍の施設データを前記第 2 記憶手段から検索する手段と、

検索して得られた部品データ及び施設データをユーザ端末に送信する手段と、  
検索して得られた施設に前記部品データ及びユーザデータを送信する手段と、  
を有することを特徴とする電子商取引装置。

【請求項 9】 通信回線で接続されたコンピュータネットワークを用いて商取引を行う電子商取引方法であって、

ユーザからのアクセスに対しジョブ管理情報を生成しユーザを識別するステップと、

製品及び部品データを記憶するデータベースより前記ユーザから検索要求のあった部品に関する情報を検索しユーザに提示するステップと、

前記ユーザからの部品の購入要求と取付予約の少なくとも一方を受信するステップと、

前記購入要求を受信した場合に前記購入要求と前記ジョブ管理情報から生成された部品の製造あるいは選別に必要な情報を前記部品の保有側で取得し、前記取付予約を受信した場合に前記取付予約と前記ジョブ管理情報から作成された予約情報を前記ユーザの保有する製品に前記部品を取り付ける取付作業側で取得するステップと、

を有することを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 10】 通信回線で接続されたコンピュータネットワークを用いて商取引を行う電子商取引システムであって、

ユーザ端末からのアクセスに対しユーザを識別しジョブ管理情報を生成する手段と、

前記ユーザからの部品検索要求を受信する手段と、

製品及び部品データを記憶するデータベースより検索要求のあった部品に関する情報をユーザ側に提示する手段と、

前記ユーザ端末から部品購入要求と取付予約の少なくとも一方を受信する手段と、

前記購入要求を受信した場合に前記購入要求と前記ジョブ管理情報から作成された部品の製造あるいは選別に必要な情報を前記部品の保有側から取得し、前記取付予約を受信した場合に前記取付予約と前記ジョブ管理情報から作成された予約情報をユーザの保有する製品に前記部品を取り付ける取付作業側で取得する手段と、

を有することを特徴とする電子商取引システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は電子商取引方法及びシステム並びに装置、特に通信ネットワークを用いて車両に取り付ける部品等の取引を行う技術に関する。

【0002】

【従来の技術】

従来は、車両に取り付ける部品の購入、取付について、ユーザがディーラへ出向いたうで、ユーザ車両に取り付け得る部品の特開平8-185410号公報記載の検索システム等により選び出し、その価格、取付工賃、納期を提示し、売買契約、取付請負契約を締結してディーラが当該部品を発注していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、ユーザにとってはディーラに出向くまで自分の車両に取付可能な部品の詳細や、部品の取付等に要する費用を知ることができないので、部品の購入、取付が容易であるといえなかった。そして、部品の購入、取付の申し込みをしたとしても、ディーラによる部品発注時には部品納入の正確な日時が分からず、ユーザに対して正確な納期など部品の購入、取付にかかる全体の費用、納期の詳細を知らせることができなかった。

【0004】

また、ディーラにとっても、部品発注と部品取付の管理が異なっており、ユーザからの納期、費用等に関する問い合わせに対して迅速、十分な対応がとれず、日程管理、費用管理の上でユーザに十分なサービスを提供できるものでなかった

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記従来技術の有する課題に鑑みなされたものであり、その目的は、通信ネットワークを用いて車両取付部品等の商品データを簡易に、かつ確実にユーザが獲得でき、車両等に取り付けることが可能となる方法及びシステムを提供することにある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、通信ネットワークを用いて商取引を行う方法であって、購入を希望する商品データ及びユーザ特定データを端末からサーバコンピュータに送信し、前記ユーザ特定データに基づいて前記商品を受け取る施設を検索し、前記施設データを前記サーバコンピュータから前記端末に送信することを特徴とする。

【 0 0 0 7 】

ここで、前記購入を希望する商品データは、ユーザの保有する車両に取付可能な部品データであり、前記商品を受け取る施設は、前記部品を前記車両に取付可能な施設であることが好適である。

【 0 0 0 8 】

また、前記部品を前記車両に取り付けた状態の画像データを前記サーバコンピュータから前記端末に送信することが好適である。

【 0 0 0 9 】

また、前記施設で前記部品を取り付けるための情報、例えば取付日時や取付価格、取付工賃などを前記端末に送信することが好適である。

【 0 0 1 0 】

また、本発明は、通信ネットワークを介して車両に取り付ける部品の商取引を行う方法であって、少なくとも、端末から部品取付を希望する車両データをサーバコンピュータに送信し、前記サーバコンピュータで前記車両データに合致する部品データを検索して前記端末に送信して前記部品データを表示し、前記部品データに基づき選択された、取付を希望する部品データを前記端末から前記サーバ



コンピュータに送信し、前記サーバコンピュータで前記取付を希望する部品を前記車両に取り付けることができる施設を検索し、前記端末に送信して施設データを表示し、前記施設データから選択された、取付を希望する施設データ及び取付希望日を前記端末から前記サーバコンピュータに送信することを特徴とする。

## 【 0 0 1 1 】

また、本発明は、通信ネットワークを介して車両に取り付ける部品の商取引を行う方法であって、少なくとも、端末から部品取付を希望する車両データをサーバコンピュータに送信し、前記サーバコンピュータで前記車両データに合致する部品データを検索して前記端末に送信して前記部品データを表示し、前記部品データに基づき選択された、取付を希望する部品データを前記端末から前記サーバコンピュータに送信し、前記サーバコンピュータで前記取付を希望する部品を前記車両に取り付けることができ、かつ指定された取付希望日に取付可能な施設を検索し、前記端末に送信して施設データを表示し、前記施設データから選択された、取付を希望する施設データを前記端末から前記サーバコンピュータに送信することを特徴とする。

## 【 0 0 1 2 】

また、本発明は、通信ネットワークを用いて車両部品の取引を行うシステムであって、車両データ及びユーザデータを送信する端末と、前記車両データ及びユーザデータに基づき、車両に適合する部品及び前記部品を取り付けることのできるユーザ住所近傍の施設を検索して前記端末に送信するサーバコンピュータと、を有し、前記端末は、前記施設における前記部品の取付予約を前記サーバコンピュータに送信することを特徴とする。

## 【 0 0 1 3 】

また、本発明は、通信ネットワークを用いて車両部品の取引を行う装置であって、部品データを記憶する第 1 記憶手段と、施設データを記憶する第 2 記憶手段と、車両データに基づき、車両に適合する部品データを前記第 1 記憶手段から検索する手段と、前記車両データ及びユーザデータに基づき、前記ユーザ住所近傍の施設データを前記第 2 記憶手段から検索する手段と、検索して得られた部品データ及び施設データをユーザ端末に送信する手段と、検索して得られた施設に前

記部品データ及びユーザデータを送信する手段とを有することを特徴とする。

【0014】

また、本発明は、通信回線で接続されたコンピュータネットワークを用いて商取引を行う電子商取引方法であって、ユーザからのアクセスに対しジョブ管理情報、例えばジョブIDやユーザID、氏名、住所、保有車種などを生成しユーザを識別するステップと、製品及び部品データを記憶するデータベースより前記ユーザから検索要求のあった部品に関する情報を検索しユーザに提示するステップと、前記ユーザからの部品の購入要求と取付予約の少なくとも一方を受信するステップと、前記購入要求を受信した場合に前記購入要求と前記ジョブ管理情報から生成された部品の製造あるいは選別に必要な情報、例えばジョブIDや部品種などを前記部品の保有側（例えば工場や倉庫、ディーラなど）で取得し、前記取付予約を受信した場合に前記取付予約と前記ジョブ管理情報から作成された予約情報、例えばジョブIDや車種、部品などを前記ユーザの保有する製品に前記部品を取り付ける取付作業側で取得するステップとを有することを特徴とする。

【0015】

また、本発明は、通信回線で接続されたコンピュータネットワークを用いて商取引を行う電子商取引システムであって、ユーザ端末からのアクセスに対しユーザを識別しジョブ管理情報を生成する手段と、前記ユーザからの部品検索要求を受信する手段と、製品及び部品データを記憶するデータベースより検索要求のあった部品に関する情報をユーザ側に提示する手段と、前記ユーザ端末から部品購入要求と取付予約の少なくとも一方を受信する手段と、前記購入要求を受信した場合に前記購入要求と前記ジョブ管理情報から作成された部品の製造あるいは選別に必要な情報を前記部品の保有側から取得し、前記取付予約を受信した場合に前記取付予約と前記ジョブ管理情報から作成された予約情報をユーザの保有する製品に前記部品を取り付ける取付作業側で取得する手段とを有することを特徴とする。

【0016】

図1には、本発明の概念構成図が示されている。サーバコンピュータを有するセンタには、車両毎の部品データが記憶されており、これらの部品データをユー

ザからの要求に応じてユーザに供給する。ユーザは、端末に表示された部品データに基づき購入を希望する部品、例えば取付部品をセンタに送信する。また、ユーザは自身を特定するIDもセンタに供給する。センタでは、ユーザから指定された取付部品をユーザの車両に取り付けることができる施設（例えばユーザが利用するのに都合の良いディーラ）を検索してユーザに供給する。通常、車両を取り付けるディーラ毎に取付工賃は異なるので、センタは検索して得られたディーラデータをユーザに供給する際に、ディーラの工賃データも供給する。該当するディーラが複数存在する場合には、ユーザは、提示されたディーラから一のディーラを選択することができる。ディーラを選択に際し、ユーザは部品の取付希望日をセンタに送信する。センタでは、ユーザが取付を希望する部品、取付希望日、取付希望ディーラデータを受け、注文データを部品センタに供給する一方、ユーザデータ、すなわちユーザが希望する取付部品、取付希望日をユーザが選択したディーラに送信する。取付に必要な部品は取付希望日までに部品センタからディーラに配送され、ディーラではいつユーザが当該部品を取付に来るか前もって知ることになるので、ユーザが車両を持ち込むと、迅速に希望部品を車両に取り付けることができる。また、ユーザにとっても、自分の希望する日時に指定したディーラに車両を持ち込むだけで、所望の部品を取り付けることが可能となる。また、事前に工賃データがセンタから供給されるため、取付に要する費用を事前に計算することができ、安心して部品取付できる。

#### 【0017】

なお、取付部品が既にディーラに存在する場合には、部品センタから部品を配送する必要がないので、部品センタに対する送信及び部品センタからの部品配送は不要である。

#### 【0018】

このように、本発明においてはユーザは取付部品を購入するのみならず、取り付けるディーラ、さらには取付希望日を指定して車両を部品取付することができるので、ユーザの使い勝手が著しく向上する。

#### 【0019】

#### 【発明の実施の形態】

以下、図面に基づき本発明の実施形態について、車両に取り付ける部品を購入し、さらにこの部品を車両に取り付ける場合を例にとり説明する。

#### 【 0 0 2 0 】

図 2 には、本実施形態に係る電子商取引システムの概念図が示されている。ネットワーク 1 0 を介してサーバコンピュータ 1 2 とユーザ端末 1 4, 1 6 (適宜ユーザ 1 4, 1 6 と称する)、ディーラ端末 1 8 (適宜ディーラと称する) 及び部品センタ端末 2 0 (適宜部品センタと称する) が接続されるサーバクライアントシステムである。サーバコンピュータ 1 2 には、部品センタ端末 2 0 あるいはディーラ端末 1 8 から供給された部品データや、ディーラ端末 1 8 から供給されたディーラデータ (例えばディーラにおける取扱車種や工賃データ等) が記憶される。部品データやディーラデータはたとえば HTML で記述された Web ページ形式で記憶され、ユーザ端末 1 4, 1 6 からの要求に応じてこれら Web ページをネットワーク 1 0 を介して供給する。ユーザ端末 1 4, 1 6 は表示部を有し、WWW ブラウザを用いてサーバコンピュータ 1 2 から供給された部品データを Web ページ形式で表示する。ユーザは、表示された部品データに基づいて取付を希望する部品を特定してサーバコンピュータ 1 2 に供給する。

#### 【 0 0 2 1 】

ユーザの希望する部品データを受信したサーバコンピュータ 1 2 では、ユーザがその部品を車両に取り付けるのに都合のよいディーラ、具体的にはユーザの住所近傍のディーラをデータベースから検索してユーザ端末 1 4, 1 6 に送信する。ユーザの住所データは、たとえば本システムを利用する際にユーザに対して ID の入力を要求し、ユーザ端末 1 4, 1 6 から送信された ID に基づき特定することができる。ユーザの希望する部品を取付可能なディーラが複数存在する場合には、サーバコンピュータ 1 2 は当該複数のディーラデータ、具体的にはディーラの名前や所在地をユーザ端末 1 4, 1 6 に送信し一覧表示する。ユーザは、この一覧表示から一のディーラを選択することができる。なお、既登録ユーザに対してはこのように ID でユーザの住所を特定することができるが、未登録 (新規) ユーザについてはユーザの氏名及び住所の入力を要求し、入力された住所でディーラを検索すればよい。また、ディーラを検索するに際し、ユーザの住所デー

タではなく、他のユーザ個人情報、例えば勤務先住所、通勤路、ユーザの指定した地点の住所などを用いてもよい。これらの個人情報は、端末から送信されたユーザIDに基づいて管理データベース12dに記憶されている個人情報から特定することができる。すなわち、検索すべきディーラは、必ずしもユーザの住所近傍に限定されるものではない。さらに、検索して得られたディーラデータからユーザが選択するのではなく、ユーザが別途希望するディーラを指定することも可能であり、一覧表示しないようなオプションをユーザが適宜選択できるように構成してもよい。ディーラ選択に際し、ユーザは車両に取り付ける希望日（取付希望日）をサーバコンピュータ12に送信する。この取付希望日は、日単位でもよいが、さらに時間まで指定できるようにするのが好適である。

## 【0022】

ユーザがディーラを選択してサーバコンピュータ12に送信すると、サーバコンピュータは部品センタ端末20に対してユーザが取付を希望した部品データ及び配送すべきディーラデータを送信する。部品センタ端末20では、サーバコンピュータ12から供給された部品データ（注文データ）に基づき当該部品を指定されたディーラ18に配送する。また、サーバコンピュータ12は、ユーザが指定したディーラ18に対して部品データ及びユーザデータを送信する。ユーザデータには、ユーザが持ち込む車両のデータや取付希望日時も含まれる。

## 【0023】

必要なデータ、すなわち自身を特定するID、車両データ、取付部品、取付ディーラ、取付希望日時をサーバコンピュータ12に送信した後、ユーザは指定した日時に指定したディーラに車両を持ち込む。車両が持ち込まれたディーラでは、サーバコンピュータ12からあらかじめユーザデータ、すなわちユーザの持ち込む車両や取付部品のデータ、及び取付部品も供給されているので、直ちに取付作業を行うことができる。

## 【0024】

なお、ユーザの指定したディーラでは、取付に必要な部品が供給された後、あるいはそれに先だって、ユーザに対して確認の電子メールなどを送信するのも好適である。確認のメールには、例えば車種、取付部品、取付日時、取付金額（部

品価格＋工賃）を含めることが望ましい。

#### 【 0 0 2 5 】

図 3 には、サーバコンピュータ 1 2 の構成ブロック図が示されている。サーバコンピュータ 1 2 には、ネットワーク 1 0 に接続するためのインタフェース I / F 1 2 a、CPU 1 2 b、ROM や RAM、ハードディスク等から構成されるメモリ 1 2 c、電子商取引を利用するユーザのデータやディーラ 1 8、部品センタ 2 0 のデータを記憶する管理データベース（D / B）1 2 d、車両取り付ける部品のデータを記憶する部品データベース（D / B）1 2 e を有して構成される。

#### 【 0 0 2 6 】

管理データベース 1 2 d に記憶されるユーザの個人データは、たとえばユーザの ID や氏名、住所、決済用のクレジット番号等である。部品データベース 1 2 e には、部品センタ 2 0 あるいはディーラ 1 8 から供給された部品データが記憶される。部品データは、取付可能な車両毎にテーブル形式で記憶されることが好ましい。部品データには、部品の価格も含まれる。CPU 1 2 b は、ユーザ端末 1 4 あるいは 1 6 から車両に関するデータ、具体的には車種や年式に関するデータを受信すると、これらの車種や年式に合致する部品データを部品データベース 1 2 e から検索し、ユーザ端末 1 4 あるいは 1 6 に供給する。また、ユーザ端末 1 4 あるいは 1 6 から取付部品データを受信すると、CPU 1 2 b は管理データベース 1 2 e から指定された部品を取り付けることができるディーラを検索しユーザ端末 1 4 あるいは 1 6 に供給する。ある部品を取り付けることができるディーラとは、具体的にはユーザが部品取付を希望する車種を取り扱うことのできるディーラをいう。このため、管理データベース 1 2 d に記憶されるディーラデータには、取り扱う車種に関するデータも併せて記憶しておくことが望ましい。

#### 【 0 0 2 7 】

また、ディーラを検索するに際しては、管理データベース 1 2 d に記憶されたユーザ ID が用いられる。すなわち、ユーザ ID からユーザの住所（あるいは勤務先住所、通勤路、ユーザ指定地点）を読み出し、該当するディーラを管理データベース 1 2 d から検索する。これにより、ユーザに対して不都合なディーラ、例えば遠隔地のディーラを提示してしまう不具合を排除することができる。条件

に該当するディーラが複数存在する場合には、CPU12bはすべてのディーラを検索してユーザ端末14あるいは16に供給する。そして、ユーザがいずれかのディーラを選択した場合、CPU12bは取付部品データ及び取付ディーラデータを部品センタ20に供給するとともに、指定されたディーラ18にユーザデータを供給する。

## 【0028】

図4には、ユーザ端末14の構成ブロック図が示されている。ユーザ端末16もその構成は同一である。ユーザ端末14は、通信ネットワーク10と接続するためのインタフェースI/F14a、CPU14b、メモリ14c、入力部14d及び表示部14eを有して構成される。入力部14dは、たとえばキーボードやタッチスイッチ等で構成され、ユーザが部品取付を希望する車両の車種や年式データを入力する。また、取付部品やユーザID、取付希望日時を入力し、ネットワーク10を介してサーバコンピュータ12に供給する。表示部14eは、CRTや液晶等のディスプレイで構成され、サーバコンピュータ12から供給された部品データやディーラデータを表示する。部品データは、たとえば画像データを含むことが好適であり、当該部品を取り付けた状態の車両画像とすることがさらに好適である。

## 【0029】

図5には、本実施形態の全体処理フローチャートが示されている。まず、ユーザは端末14（あるいは端末16）を用いて取付を希望する車種や年式を選択してサーバコンピュータ12に送信する（S101）。車種や年式の選択は、たとえばサーバコンピュータ12から取付可能な車種や年式をユーザ端末に一覧表示し、一覧表示された車種や年式から選択するように構成することが好適である。具体的には、車種や年式の一覧をWebページ形式で表示し、一覧表示されたリストの中から該当する車種や年式をクリックすることでサーバコンピュータ12に送信する。

## 【0030】

図6には、ユーザ端末14に表示される車種や年式の一覧画面100が示されている。表示項目としては、車名、グレード・仕様、通称形式、年式、エンジン

形式などが表示され、さらに各項目について選択ボタンが表示される。ユーザは、自己の所有する車両を選択し、選択ボタンをクリックすることで、車種や年式をサーバコンピュータ 1 2 に送信することができる。

## 【 0 0 3 1 】

ユーザ端末 1 4 から送信された車両データはサーバコンピュータ 1 2 で受信され、サーバコンピュータ 1 2 は受信した車種や年式に適合する部品を部品データベース 1 2 e から検索し、ユーザ端末 1 4 に送信する ( S 1 0 2 ) 。

## 【 0 0 3 2 】

図 7 には、ユーザ端末 1 4 に表示される、部品データ画面 2 0 0 が示されている。なお、この画面はいわゆるエアロパーツを示したものである。各エアロパーツを取り付けた状態の車両外観画像とそのエアロパーツの説明文が表示され、取付を希望する場合に選択するボタンも表示される。図において、「組み付け希望」と表示されたボタン 2 0 0 a が選択ボタンである。また、各エアロパーツをより詳細に確認したいユーザは、画面 2 0 0 に表示された詳細表示ボタン 2 0 0 b をクリックすると、各エアロパーツの詳細データがサーバコンピュータ 1 2 から供給され、ユーザ端末 1 4 に表示される。

## 【 0 0 3 3 】

図 8 には、詳細表示画面 3 0 0 の一例が示されている。車両外観とともに、エアロパーツの名称や説明文が表示される。また、車両外観を複数の視点から見るための方向選択スイッチが表示され、たとえばユーザが「全体 1」なるボタンをクリックするとサーバコンピュータ 1 2 から左斜め前方から車両を見たときの画像データが送信され表示される。また、各エアロパーツを強調表示するための選択ボタンも表示され、たとえばフロントスポイラボタンを選択すると、車両外観のうちフロントスポイラ部のみが強調表示される。これらのボタンを適宜選択することで、ユーザは取り付け状態における車両外観やその性能などを容易に確認することができ、取付部品選択の参考にすることができる。

## 【 0 0 3 4 】

また、エアロパーツを構成するセット内容を変更したい場合には、セット内容変更ボタンをクリックすると、サーバコンピュータ 1 2 からセット内容の一覧画



面が送信され表示される。

#### 【 0 0 3 5 】

図 9 には、このようなエアロパーツを構成する部品群の一覧画面 4 0 0 が示されている。各部品名（商品名）及び価格とともに、各部品を取り付けるか否かを選択するためのボタンが表示される。ユーザは、セット化されたエアロパーツのうち、例えばフロントバンパの取付を希望しない場合には、組み付け希望選択ボタンを OFF とすればよい。

#### 【 0 0 3 6 】

一方、ユーザがエアロパーツではなく、車両の他の部品の取付を希望する場合には、例えば図 7 の画面 2 0 0 において希望するパーツの選択スイッチ 2 0 0 c をクリックすればよい。ユーザがホイールボタンを選択すると、サーバコンピュータ 1 2 は部品データベース 1 2 e に記憶されている当該車両のホイール部品データを検索し、ユーザ端末 1 4 に供給する。

#### 【 0 0 3 7 】

図 1 0 には、サーバコンピュータ 1 2 から供給されユーザ端末 1 4 に表示されるホイール部品の画面 5 0 0 が示されている。エアロパーツの場合と同様に、ホイールの画像が表示されるとともに、組み付け希望選択ボタンが表示される。ユーザが所望のホイールを選択し、組み付け希望ボタンを選択してサーバコンピュータ 1 2 に送信する。

#### 【 0 0 3 8 】

再び図 5 に戻り、以上のようにしてサーバコンピュータ 1 2 からユーザの車両に適合する部品データが供給されユーザ端末 1 4 に表示されるので（S 1 0 2）、ユーザは取り付ける部品を選択し、サーバコンピュータ 1 2 に送信する。また、ユーザはこのサービスを利用するために自身の ID をサーバコンピュータ 1 2 に送信する（S 1 0 3）。もちろん、ユーザ ID の入力 は S 1 0 1 の前で行うことも可能である。

#### 【 0 0 3 9 】

図 1 1 には、ユーザの ID を入力する画面 6 0 0 が示されている。メンバー ID 及びパスワードを入力し、ログインボタンをクリックすることでユーザ ID が

サーバコンピュータ 1 2 に送信される。なお、ID はあらかじめサーバコンピュータ 1 2 で各ユーザに対し割り当てることができ、サーバコンピュータ 1 2 はユーザ端末 1 4 から送信された ID に基づき、管理データベース 1 2 d を検索してユーザの住所、すなわちユーザが取付けを希望する車両の位置を認識する。なお、画面 6 0 0 はユーザがサーバコンピュータ 1 2 にアクセスする最初の段階で表示してもよい。

## 【 0 0 4 0 】

取付部品及びユーザ ID を送信した後、サーバコンピュータ 1 2 は管理データベース 1 2 d からディーラを検索し、ユーザ端末 1 4 に送信する ( S 1 0 4 ) 。すなわち、ユーザの車両に当該部品を組み付けることができるディーラのうち、住所近傍などユーザにとり都合の良いディーラを検索してユーザ端末 1 4 に送信する。複数のディーラが検索された場合には、すべてのディーラデータをユーザ端末 1 4 に送信する。

## 【 0 0 4 1 】

図 1 2 には、ユーザ端末 1 4 に表示されるディーラの一覧画面 7 0 0 が示されている。ディーラ名とその住所及び選択ボタンが表示され、ユーザはこの画面で取付けを希望するディーラを選択することができる。一覧表示されたディーラは、全て自己の所有する車両に取り付けることができ、しかも自己の住所近傍のディーラのみであるので、ユーザは好適に最適のディーラを選択することができる。

## 【 0 0 4 2 】

ユーザが図 1 2 の画面を用いて一のディーラを選択しサーバコンピュータ 1 2 に送信すると ( S 1 0 5 ) 、サーバコンピュータ 1 2 は選択されたディーラの詳細データをユーザ端末 1 4 に送信し表示する ( S 1 0 6 ) 。

## 【 0 0 4 3 】

図 1 3 には、ユーザが選択したディーラの詳細データ表示画面 8 0 0 が示されている。ディーラ名とともに取り付ける部品の一覧が表示され、さらにそのディーラにおける取付工賃も同時に表示される。この工賃データは、あらかじめ各ディーラからサーバコンピュータ 1 2 に供給されて管理データベース 1 2 d に記憶

されるものであり、部品の価格とともにその取付工賃も表示することで、ユーザは取付工賃も含めた全価格を容易に知ることができる。また、全体の価格を表示することで、ユーザは限られた予算の中でどの部品を取り付けるべきかを評価することが可能となる。取り付け工賃も含めた価格評価の結果、ある部品の取付を取り消したいと欲する場合には、組み付け希望の取消ボタンを選択して取り消せばよい。

## 【 0 0 4 4 】

なお、ユーザが一のディーラを選択した後に工賃を含む詳細データをユーザ端末 1 4 に表示するのではなく、検索して得られたディーラ一覧画面において工賃データを同時に表示することも可能となる。これにより、ユーザはディーラを選択する際に各ディーラの工賃も比較の対象として選択できるようになる。

## 【 0 0 4 5 】

取付部品及び取付希望ディーラを最終的に決定した後、ユーザはさらにその取付ディーラにおける取付希望日を入力してサーバコンピュータ 1 2 に送信する（S 1 0 7）。取付希望日をサーバコンピュータ 1 2 に送信することは、言い換えれば決定したディーラ 1 8 における取付の予約を行うことである。もちろん、サーバコンピュータ 1 2 で当該ディーラにおける取付可能日を決定してその取付可能日のデータをユーザ端末 1 4 に送信し、ユーザは取付可能日の中から希望する日を選択するようにしてもよい。取付希望日は、日のみならず時間まで指定して送信できるようにするのが好適であり、さらに、ディーラの詳細画面 8 0 0 において、そのディーラにおける取付作業時間を表示することも好適である。これにより、ユーザはいつごろディーラに車両を持ち込めばよいかを逆算することが可能となり、使い勝手が一層向上する。

## 【 0 0 4 6 】

サーバコンピュータ 1 2 は、取付部品、取付ディーラ、取付希望日のデータを受信すると、指定されたディーラ 1 8 にこれらのデータを送信する（S 1 0 8）。これにより、ディーラ 1 8 は事前に取付作業を知ることができ、取付スケジュールを設定して効率的に取り付け作業を行うことができる。

## 【 0 0 4 7 】

なお、部品購入及び部品取付に伴う代金の決済も通信ネットワーク 1 0 上で実行することが好適である。例えば、ユーザが取付部品や取付ディーラを決定してサーバコンピュータ 1 2 に送信する際に、所定の決済処理画面に移行して決済を行う等である。決済処理は、管理データベース 1 2 d に記憶されているクレジットカード番号を用いて行うことができる。ユーザが希望する場合には、取付完了時においてディーラに現金で支払うこともできる。

## 【 0 0 4 8 】

このように、本実施形態においては、ユーザは自己の車両に取り付ける部品を容易に選択することができるとともに、取付を希望するディーラを指定して取付の予約もオンライン上で行うことができるので、従来のように複数のディーラに車両を持ち込んでその都度部品の取付を交渉する必要がなくなり、迅速かつ容易に所望の部品を車両に取り付けて部品取付することができる。

## 【 0 0 4 9 】

また、本実施形態においては、ディーラにおける取付工賃もユーザに提供されるため、ユーザは取付工賃も含めた全価格を事前に知ることができ、安心して部品取付することができる。

## 【 0 0 5 0 】

以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、本発明の技術的思想の範囲内で種々の変更使用が可能である。例えば、本実施形態では一のディーラを選択した後に取付希望日をサーバコンピュータ 1 2 に送信しているが、ディーラを選択する前に取付希望日を送信することも可能である。この場合、サーバコンピュータ 1 2 では、ユーザが指定した部品を取り付けることができ、かつ、ユーザの住所近傍に位置し、かつ、ユーザが希望する取付日に取り付けることのできるディーラを管理データベース 1 2 d から検索してユーザ端末 1 4 に供給する等である。この場合、各ディーラにおける作業負荷のデータも管理データベース 1 2 d に記憶しておき、取付希望日に取り付けることができるか否かを判定すればよい。

## 【 0 0 5 1 】

また、本実施形態における端末には、パーソナルコンピュータの他、携帯電話

、PDAなど、入力機能、表示機能及び処理機能を有する任意の機器が含まれる。

【0052】

また、本実施形態では車両に取り付ける部品を例にとり説明したが、他の商品にも同様に適用することができる。

【0053】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によればユーザは所望の商品を自己に都合のよい施設で受け取ることができる。また、車両の取付部品を購入するのみならず、自己に都合のよい取付施設での取付を事前に設定することができるので、効率的に取付を行うことができる。また、取付工賃を含む全価格を事前に知ることができるので、使い勝手が良く、安心して車両の部品取付を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の概念構成図である。

【図2】 実施形態のシステム構成図である。

【図3】 図1におけるサーバコンピュータの構成ブロック図である。

【図4】 図1におけるユーザ端末の構成ブロック図である。

【図5】 実施形態の全体処理フローチャートである。

【図6】 車種、年式表示画面説明図である。

【図7】 部品データ表示画面説明図である。

【図8】 図7における詳細表示画面説明図（その1）である。

【図9】 図7における詳細表示画面説明図（その2）である。

【図10】 他の部品データ表示画面説明図である。

【図11】 ユーザID入力画面説明図である。

【図12】 ディーラ一覧画面説明図である。

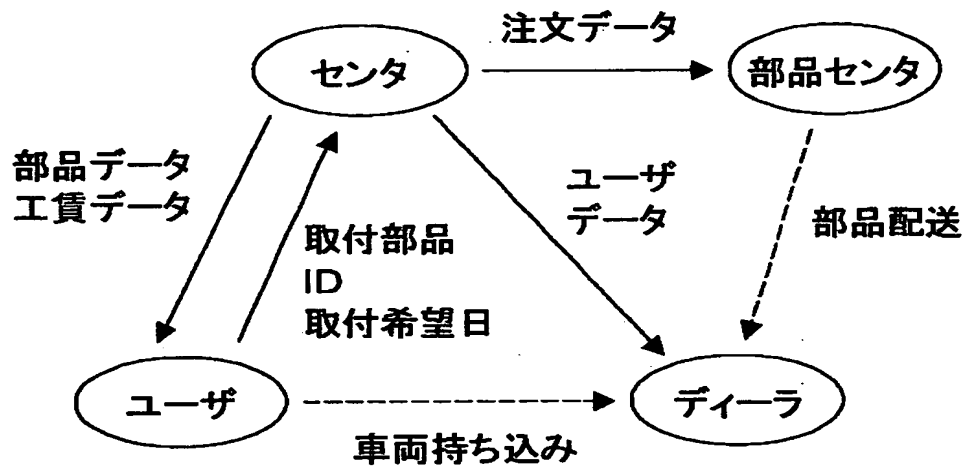
【図13】 選択されたディーラの詳細表示画面説明図である。

【符号の説明】

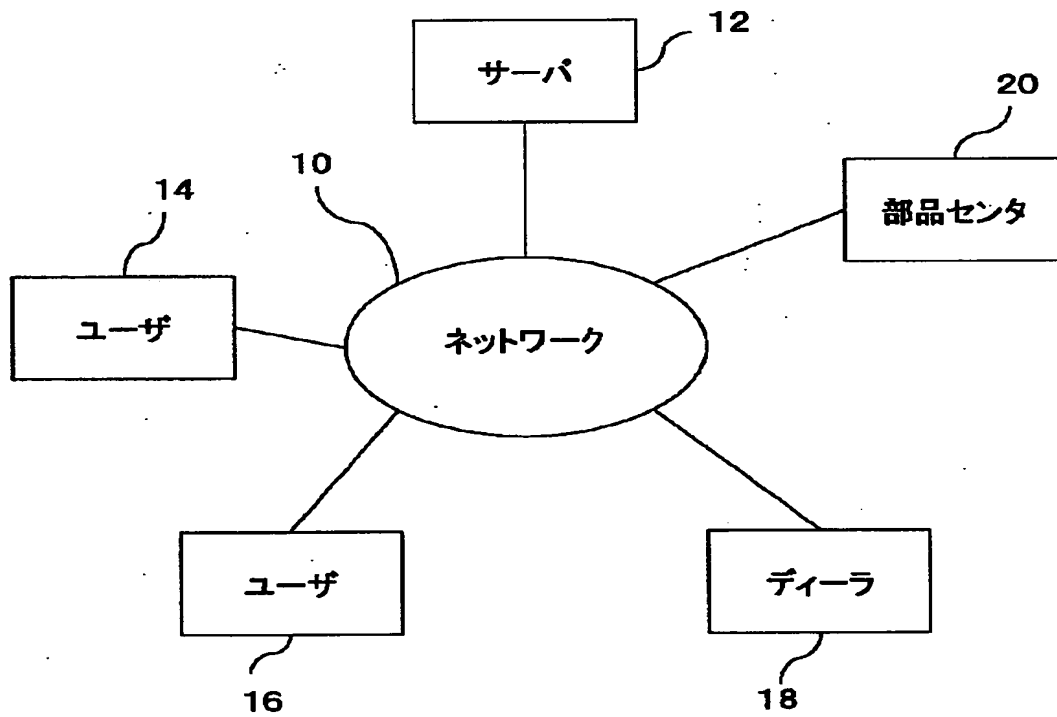
10 ネットワーク、12 サーバコンピュータ、14、16 ユーザ端末、  
18 ディーラ端末、20 パーツセンタ。

【書類名】 図面

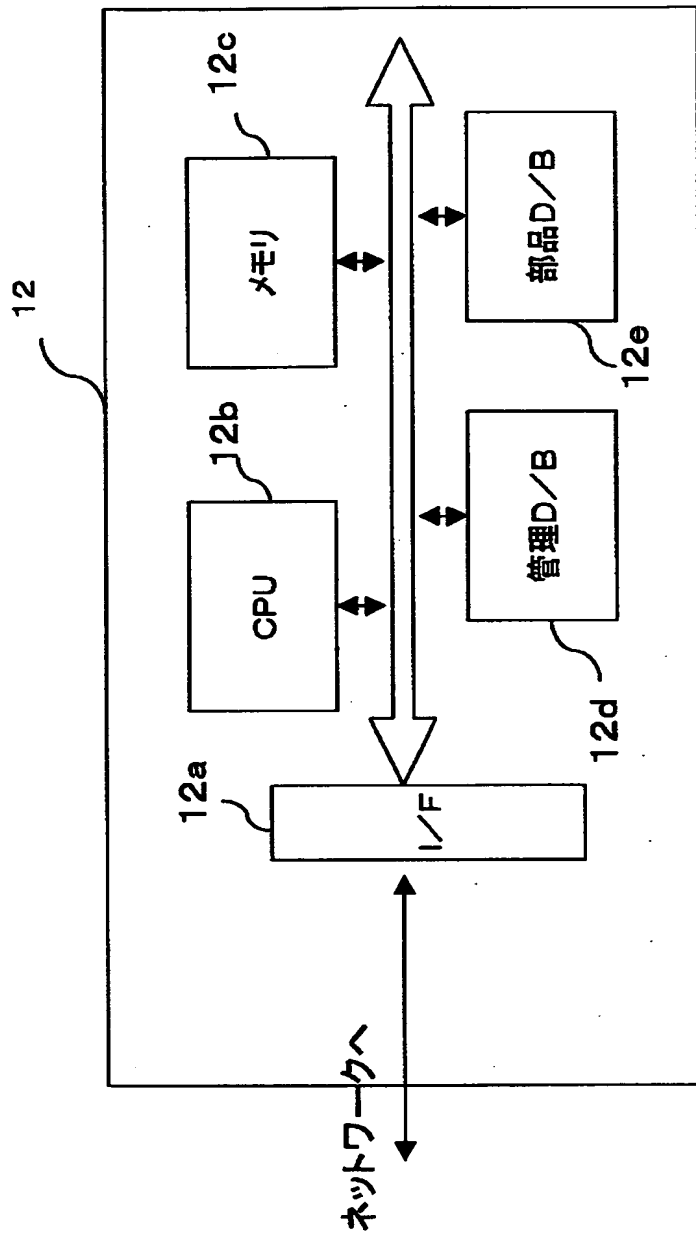
【図1】



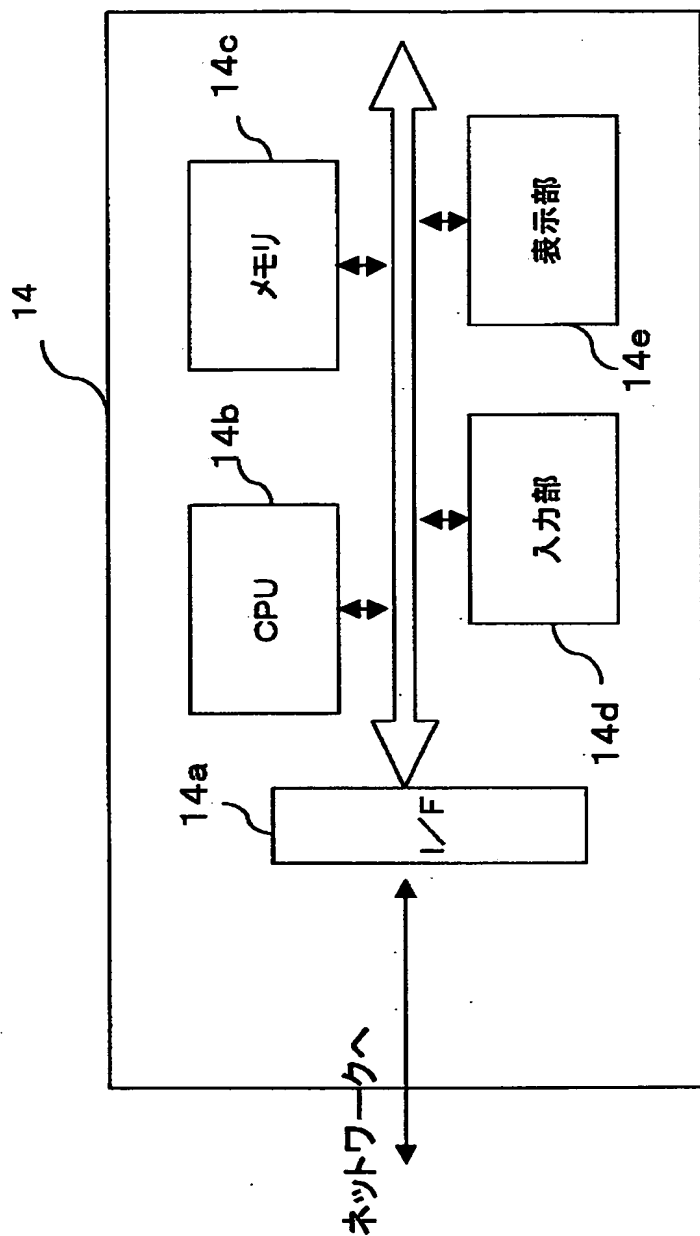
【図2】



【図 3】

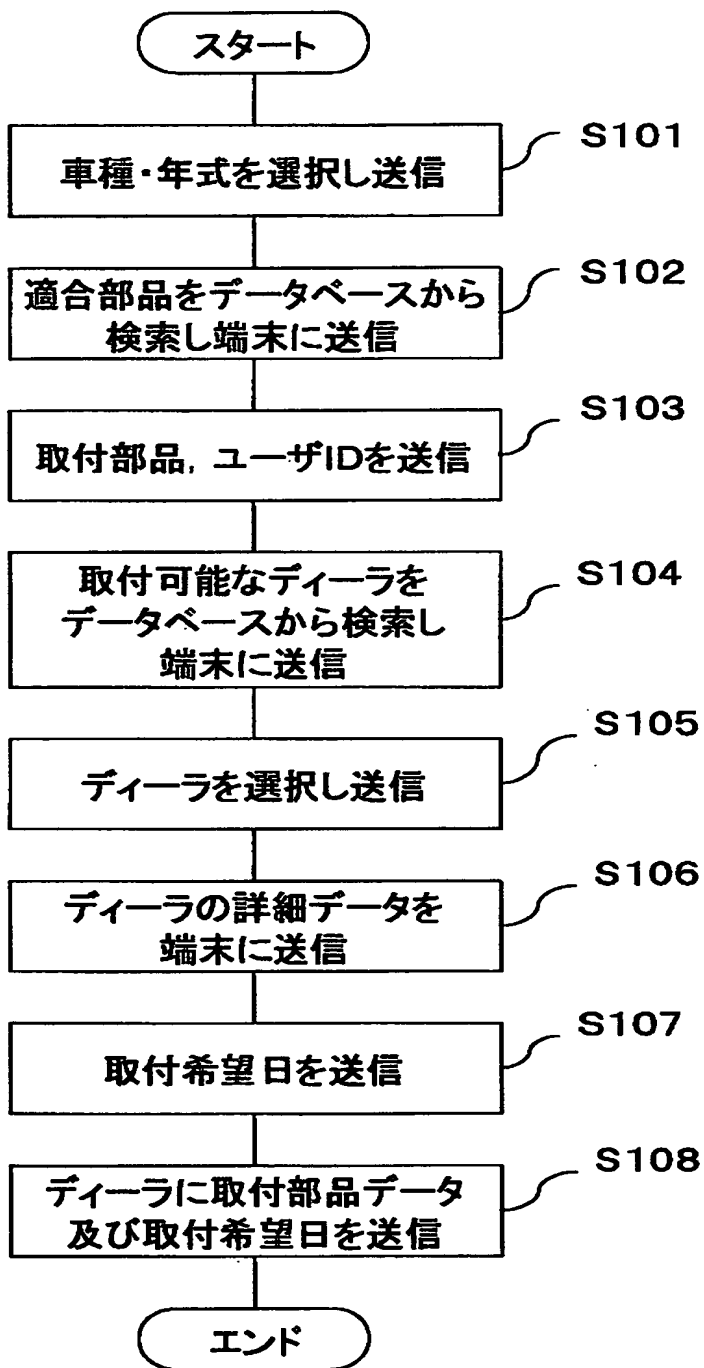


【図4】





【図 5】



【図6】

100

現在のカスタムパーツ取扱車種一覧

車名	グレード・仕様	通称形式	年式	エンジン形式	選択
ヴィッツ	5ドア U	SCP10AHPEK	99年1月～	1SZ-FE	選択
ヴィッツ	5ドア F Dパッケージ	SCP10AHPNKD	99年1月～	1SZ-FE	選択
ヴィッツ	5ドア F	SCP10AHPNK	99年1月～	1SZ-FE	選択
ヴィッツ	5ドア B	SCP10AHPDK	99年1月～	1SZ-FE	選択
ヴィッツ	3ドア U	SCP10AGPEK	99年1月～	1SZ-FE	選択
ヴィッツ	3ドア F Dパッケージ	SCP10AGPNKD	99年1月～	1SZ-FE	選択
ヴィッツ	3ドア F	SCP10AGPNK	99年1月～	1SZ-FE	選択
ヴィッツ	3ドア B	SCP10AGPDK	99年1月～	1SZ-FE	選択
アルテッツァ	RS200	SXE10AEAVF	98年1月～	3S-GEDUALWT-1	選択
アルテッツァ	RS200 Zエディション	SXE10AEAVFZ	98年1月～	3S-GEDUALWT-1	選択

【図 7】

200

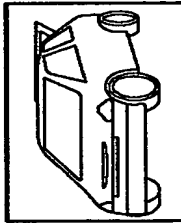
その他のパーツをご覧になりたい方はこちらからお選び下さい。

カスタムパッケージシリーズ



200c

Vitz C-ONE Motorsport  
価格：1セット¥000.000 (外税・工賃別) G-Number:A081-18029  
適合型式：SCP10 適合エンジン型式：1SZ-FE 適合年式：99.1～



☆人気バロメーター☆

この商品を見た人 153人

ヨーロッパアンテーストとレーシングスタイルを見事に融合させた美しい  
フォルムが印象的なパッケージです。

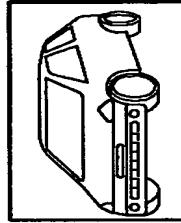
200a



詳細表示

200b

Vitz G'SPICE  
価格：1セット¥000.000 (外税・工賃別) G-Number:A081-18029  
適合型式：SCP10 適合エンジン型式：1SZ-FE 適合年式：99.1～



☆人気バロメーター☆

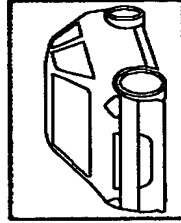
この商品を見た人 26人

ヨーロッパアンテーストとレーシングスタイルを見事に融合させた美しい  
フォルムが印象的なパッケージです。



詳細表示

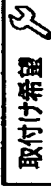
Vitz C-ONE Motorsport  
価格：1セット¥000.000 (外税・工賃別) G-Number:A081-18029  
適合型式：SCP10 適合エンジン型式：1SZ-FE 適合年式：99.1～



☆人気バロメーター☆

この商品を見た人 26人

ヨーロッパアンテーストとレーシングスタイルを見事に融合させた美しい  
フォルムが印象的なパッケージです。



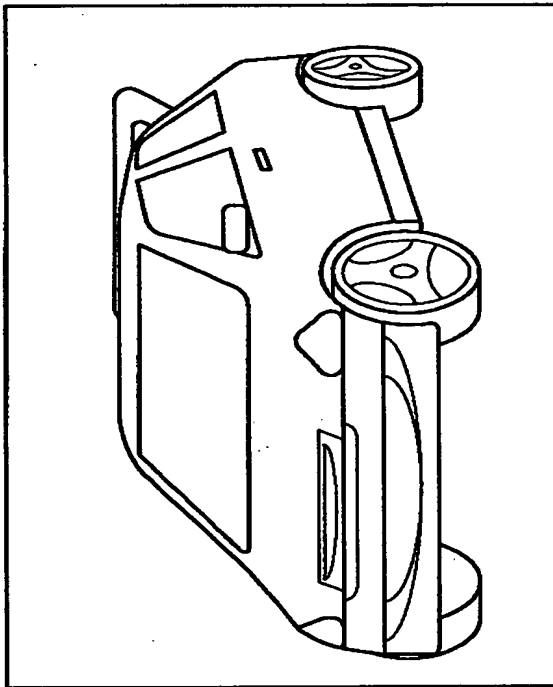
詳細表示

【図 8】

300

Vitz C-ONE Motorsport  
価格：1 セット ¥0 0 0 . 0 0 0 (外税・工賃別) G-Number:A081-16029

取付け希望



パッケージ名	
C-ONE Motorsport	
ベース車両	
Vitz ヴィッツ	
パッケージ内容	
フロントバンパー・フロントグリル・リアウイング・ リヤロアバンパー・ダミーエアダクト	
適合型式	SCP10
適合エンジン型式	1SZ-FE
適合年式	'99年1月～

ヨーロッパアンテーストとレーシンググスタイルを  
見事に融合させた美しいフォルムが印象的な  
パッケージです。ヨーロッパアンテーストとレ  
ーシンググスタイルを、見事に融合させた美しい  
フォルムが印象的なパッケージです。

☒ 全体 1 ☒ 全体 2 ☒ 全体 3 ☒ 全体 4

☒ フロントぶイラ ☒ リアぶイラ ☒ サイドスプア ☒ フロントグリル ☒ リアウイング ☒ アルミホイール ☒ フラグラフ

セット内容変更 表示されているパッケージ内容を、セット又は単品で、確認・注文ができます。

その他の追加パーツ アルミホイール・足まわり等の追加パーツを確認・注文することができます。

【図 9】

400

商 品 名	価 格	G - n u m b e r	組付け希望
フロントバンパー	¥ 000,000 (外税・工賃別) /1個	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
フロントゲリル	¥ 000,000 (外税・工賃別) /1個	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
リアスポイラー	¥ 000,000 (外税・工賃別) /1個	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
サイドステップ	¥ 000,000 (外税・工賃別) /1個	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
リアウイング	¥ 000,000 (外税・工賃別) /1個	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
リアウイング	¥ 000,000 (外税・工賃別) /1個	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
リアウイング	¥ 000,000 (外税・工賃別) /1個	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>

他のパーツを追加する場合は、下のボタンからお進み下さい

エアロ

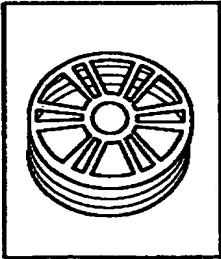
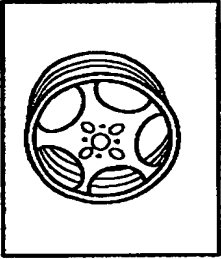
ホイール

マフラー

足まわり

【図10】

500

その他のパーツをご覧になりたい方はこちらからお進み下さい。		エアロ	新	マフラー	足まわり
その他のカスタムパーツ：ホイール					
ワーク	ESPRI0 Design-2	(15インチ)	ライトニングシルバー		
価 格	1セット¥000.000	(外税・工賃別)	G-Number:A081-16029		
型式	全型式	エンジン型式	全型式	年式	99.1～
		☆人気度バロメーター☆ この商品を見た人 26人		取付け希望	
サイズ：605J-15+35 フロント・リヤ装着可 (袋ナット)					
ワーク	ESPRI0 Design-2	(15インチ)	ライトニングシルバー		
価 格	1セット¥000.000	(外税・工賃別)	G-Number:A081-16029		
型式	全型式	エンジン型式	全型式	年式	99.1～
		☆人気度バロメーター☆ この商品を見た人 26人		取付け希望	
サイズ：605J-15+35 フロント・リヤ装着可 (袋ナット)					

【図11】

600

メンバーログイン

メンバーの方はIDはパスワードを入力してログインしてください

メンバーID  パスワード

【図 1 2】

7 0 0

販 売 店	住 所	
X X X	* * *	<input type="checkbox"/> 選 択
Y Y Y	* * *	<input type="checkbox"/> 選 択
Z Z Z	* * *	<input type="checkbox"/> 選 択
A A A	* * *	<input type="checkbox"/> 選 択



【図 1 3】

800

取付先販売店名		〇〇営業所		
合計金額		¥000,000		
商 品 名	価 格	取付工賃	G - n u m b e r	
組付け希望の取消				
フロントバンパー	¥ 000,000 (外税) /1個	¥ 0,000	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
フロントグリル	¥ 000,000 (外税) /1個	¥ 0,000	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
リアスポイラー	¥ 000,000 (外税) /1個	¥ 0,000	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
サイドステップ	¥ 000,000 (外税) /1個	¥ 0,000	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
リアウイング	¥ 000,000 (外税) /1個	¥ 0,000	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
リアウイング	¥ 000,000 (外税) /1個	¥ 0,000	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>
リアウイング	¥ 000,000 (外税) /1個	¥ 0,000	A081-16029	<input checked="" type="checkbox"/>

組付けを取消す場合は該当するパーツのチェックマークを外し  
” 組付け希望の取り消し” を押してください。

【書類名】            要約書

【要約】

【課題】    通信ネットワークを用いて車両に取り付ける部品を選択し、かつ取り付けるディーラも容易に選択できるシステムを提供する。

【解決手段】    サーバコンピュータ 1 2 には車種毎の部品データが記憶され、ユーザが端末 1 4 から自己の所有する車両データを入力すると、サーバコンピュータ 1 2 は適合する部品データを検索して端末 1 4 に出力する。ユーザは、端末 1 4 から取付を希望する部品データ及び I D を入力すると、サーバコンピュータ 1 2 は、当該部品を取り付けることができ、かつユーザの住所近傍のディーラをデータベースから検索して端末 1 4 に出力する。ユーザが取付を希望するディーラ及び取付希望日を指定すると、サーバコンピュータ 1 2 から指定されたディーラ 1 8 にユーザデータが供給される。ユーザは取付希望日にディーラ 1 8 に車両を持ち込んで車両の部品取付を行う。

【選択図】            図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 3 2 0 7]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 7 日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛知県豊田市トヨタ町 1 番地
氏 名	トヨタ自動車株式会社